



石川県立輪島高等学校PTA

桐

第108号（令和7年7月発行）

〇 ご挨拶

PTA会長 二木 賢太郎

このたび、令和7年度PTA会長を務めさせていただくこととなりました二木賢太郎です。まだまだ未熟ではございますが、子どもたちの健やかな成長と、よりよい学校づくりに少しでも貢献できるように、精一杯努めてまいります。

新しい学年がスタートして、1学期が過ぎようとしています。皆さまには日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

PTAは保護者と先生方、地域がつながり、子どもたちのために協力し合う組織です。今、輪島市内は震災や水害の影響が多く残る中、子どもたちは将来に大きな不安を抱えていると思います。その中で、私たち保護者が子どもたちに明るい未来を示し、生き生きとした学校生活を送ることができるよう力を尽くしたいと思います。います。

今年度も輪島高校PTAは全員参加型活動を行います。一人ひとりの力は小さくても、協力し合えば大きな力になります。ご負担にならない範囲で、ぜひ活動にご参加いただければ幸いです。

今後、子どもたちが笑顔で学校生活を送れるよう、皆さまとともに歩んでまいりたいと考えております。どうぞよろしく願います。

〇 令和7年度PTA活動方針

- ① 全員参加型PTA活動
委員会組織は廃止し、行事ごとに全員に情報を配信メール等で周知して参加を募ります。
- ② 子どもたちの充実した学校生活のため
輪島高校の子どもたちの活動のために集中して力を注ぎます。

〇 令和7年度PTA役員（敬称略）

会長	二木 賢太郎
副会長	宮下 葉月・邑田 昭子
会計	崖 亮子・池上 稔（輪島高校事務長）
監事	濱田 さやか・宮下 美子
委員	沖崎 陽子・川口 麻里・新保 真智子・竹内 恵美 中川 由香・中田 美都子・山下 竜雄

〇 仮設校舎の建設が始まります

仮設校舎は、早ければ秋より運用可能です。

2階建て、1・2年生教室と実験室・調理室が設けられます。また、3年生教室とコンピュータ室は既存校舎を一部使用します。仮設校舎建設中でもグラウンドでの部活動などは活動可能です。

既存の建物を含めて最大限活用し、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

○ 新生活に向かって

「高校生になったら」

高校生になり2ヶ月以上が経ちました。高校生活に大分慣れましたか？友達もできたようで安心しております。母は、4月から毎日弁当を作るため早起きしています。手早く作るため弁当のメニューも大体決まったものばかりになっていきますが、段々と自分で作れるようになって欲しいと思います。家族の食事を時々作ってくれますが、作る料理のメニューを増やせるように一緒に作りましょう。家族と一緒に暮らしているうちに家事のスキルを身に付けて社会に出て行けるようになるくらいにいいなあと思っています。高校3年間はあつという間に過ぎていきます。一生懸命勉強し、部活動や学校行事を楽しんで下さい。



「出会いを大切に」

高校生活が始まるにあたり、親として大きな期待とともに温かく見守りたい気持ちでいっぱいです。高校はこれまでとは違った新しい環境であり、さまざまな出会いや経験を通じて、人間的にも大きく成長できる大切な時間だと考えています。

毎日を大切に過ごし、勉強や部活動、学校行事に一生懸命取り組むことで、自分の可能性を広げてほしいと願っています。時には困難や悩みに直面することもあるかもしれませんが、それらを乗り越えながら心身ともに強くなり、責任感や自立心を身につけてほしいと思います。

また、高校生活を通して友達や先生との関わりを深め、豊かな人間関係を築くことも大切な経験です。そうした時間を大切に過ごし、

楽しい思い出や学びをたくさん蓄えてください。

親としては、子どもが安心して充実した日々を過ごせるよう、いつでも支えになり見守っていきたいと思います。この大切な3年間で、わが子の未来を切り拓く素晴らしい時間となることを心から期待しています。

「素晴らしい将来を見つけよう」

高校生となって将来の進路を本格的に考え始める時期となりました。単に大学や専門学校に進学すること、また就職を果たすことだけでなく、「自分らしい人生を歩んでいくための一歩を、自分の力で選び取ること」だと考えています。そのためには、自分の興味や関心に向き合い、時には迷いながらも、納得のいく選択ができるよう、毎日の高校生活を大切にしてほしいと思います。

高校生活では、学習面での努力はもちろん、部活動や行事、仲間との関わりなど、様々な場面で成長のチャンスがあります。そうした中で、自分の強みや苦手なこと、好きなことや大切にしたい価値観を少しずつ見つけてほしいと思います。

私たち親ができることは限られているかもしれませんが、悩んだり、立ち止まったりしたときには、安心して戻れる場所でありたいと考えています。そして、自分の力で選び、歩み出そうとするその一歩を、信じて見守り、心から応援していきたいです。

これからの高校生活がかげがえのない時間となり、自信をもって進路を切り拓いていく三年間になることを心から願っています。

進路

進学

就職



「何事にも全力でがんばって!」

高校に入学して、部活動に一生懸命ですね。中学校までと違って慣れない環境で毎日疲れて帰ってきていますが、とても楽しそうに安心しています。

高校生活の中で、部活動は勉強とはまた違った大切な時間になると思います。仲間と一緒に汗を流したり、練習に悩んだり、時には励まし合ったり。そんな日々の積み重ねが、きっと大きな思い出になるでしょう。

結果が出ることもあれば、思うようにいかないこともあるかもしれませんが、でも、どんなときも、「楽しい」と思える気持ちを大切にしたいなと願っています。

私たちはいつでも応援しています。部活を通して、自分のペースで一步步成長してってくれたら、それだけで十分です。無理せず、でも思いきり。

高校生活、どうか楽しんでね。

※ 心温まるメッセージをありがとうございました。

「生きる希望」

校長 平野 敏

ポルトガルの北部に、「スクールクラスター」という制度を持つ小さな街があります。ここでは幼小中高そして特別支援が一体となった学校を中心に、街のあらゆる施設がそれを取り巻くように設計されています。震災で大きな被害を受けた能登半島における新しい学校づくりのヒントを探しに、ゴールデンウィークを利用してふたりの生徒を連れて視察に行ってきました。

パリ経由でリスボンに入る予定でした。パリで乗り換えを済ませ

やる気 元気

ましたが、一向に飛び立つ気配がありません。何のアナウンスもないまま時間だけが過ぎていきます。警察が慌ただしく往来を始め、乗客がポツポツと降りていきます。「先生、これじゃないですか?」生徒が見せてくれたスマホには、「ポルトガル全土で大停電、サイバーテロの可能性も」の文字が。

このまま飛び立って電気のないリスボンに降りられるのか?それなら他の乗客のように飛行機を降りてパリでホテルを探すか?決断を迫られます。ふたりを無事に日本に帰さなければ……。生きた心地がしませんでした。「どうする?飛行機降りて今夜はパリで泊まるのか?」生徒に提案しました。するとふたりの口からは、「何言ってるんですか?自分達は、電気はおろか水道もガスも寝るところすらない環境で、何ヶ月も生きてきたじゃないですか。電気がないくらいどうってことないです。行きましょう。行って電気がなくて困っている人を元気づけてあげましょう!自分達だからこそできることがあるはずですよ。」

なんとというふたりでしょう。日本で心配している保護者へメールしました。「ふざけたこと言っていないで、うちの子を無事に帰してください。」というようなお叱り覚悟で送信ボタンを押しました。するとほどなく返信が届きました。

「うちの子は電気や水道のありがたさを痛いほど知っています。なくても何とか生きていく術も知っています。サバイバルな生活を、不自由な生活を彼は楽しんでいました。安全な場所への避難の道を選ばず、家族と共に家に残り、傷ついた自分の故郷をこの目で見続けていくんだと。山から水を汲むことも彼の仕事でした。炊き出しも喜んで楽しんでやってくれました。彼の存在は、私たちの生きる希望でした。」



令和7年度行事計画

月	日(曜日)	事業内容
4	8(火)	入学式・新入生保護者説明会
	21(月)	第1回役員会
5	2(金)	P T A 総会・授業参観
6	10(火)	県高P連年次総会(金沢)
7	11(金)~12(土)	北信越地区高P連研究大会(福井県)
	18(金)	輪高P T A だより「桐」(108号)発行
	22(火)	教科書研究委員会
	22(火)~24(木)	保護者懇談会
		第2回役員会
8	21(木)~22(金)	全国高P連大会・三重大会(三重県津市)
		高P連奥能登地区生活指導連絡協議会
	29(金)	輪高祭①・文化部ステージ・クラス企画・生徒会企画
	30(土)	輪高祭②・模擬店・催事
10	17(金)	体育祭
11	1(土)~7(金)	いしかわ教育ウィーク学校公開
	1(土)	W A J I 活中間発表会
	5(水)	県高P連研究大会・指導者研修会・功労者表彰
12	9(火)~12(金)	三者面談(3年)
	24(水)~25(木)	保護者懇談(1・2年)
2		第3回役員会
3	3(火)	第78回卒業式
	3(火)	輪高P T A だより「桐」(109号)発行

日程等については、状況に応じて追加・訂正・削除になることがあります。

編集後記

令和7年度も始まり、緊張の面持ちで入学してきた1年生も高校生活に慣れてきました。今年度入学された1年生の保護者の皆様、誠におめでとうございます。中学生から輪高生としての自覚も生まれて、少しくましくなった気もします。よく、「高校は義務教育ではない」という自覚を子どもたちに持たせることが大切であるといいますが、私たち保護者も義務教育ではない環境での子どもの成長を、高校生の保護者として見守ることも大切ではないでしょうか。

高校卒業後は子供たちの多くが、進学・就職の進路に関わらず、家を出て一人暮らしをします。高校3年間で「自立」と「自律」の二つを身につけさせるのも学校と家庭が協力して身につけていかなければならないことだと思います。新年度を機に、子どもたちの高校生活が豊かで、実り多いものになりますようP T A に対しての積極的な参加を昨年度同様よろしくお願いいたします。

【発行】石川県立輪島高等学校P T A

〒928-0001

石川県輪島市河井町 18 部 42 番地の 2

電話 0768-22-2105 F A X 0768-22-9592

